

ピロリ菌感染対策事業について

令和8年2月9日
神奈川県健康医療局

1 胃がんとピロリ菌の関係

(1)胃がんとピロリ菌の関係

- 胃がんの原因の9割以上は、ピロリ菌による胃炎が原因。 ※
- ピロリ菌は、概ね5歳までに家族間の唾液等により感染。 ※
6歳以降の感染はまれである。
- ピロリ菌感染者のうち、男性では約2割が85歳までに胃がんを発症する。 ※

ピロリ菌感染者の生涯の
胃がん罹患率（85歳まで）

男性17%、女性8%

(2)ピロリ菌検査及び除菌の効果

- 除菌による発症予防効果は、年齢が高くなるほど低下する。 ※

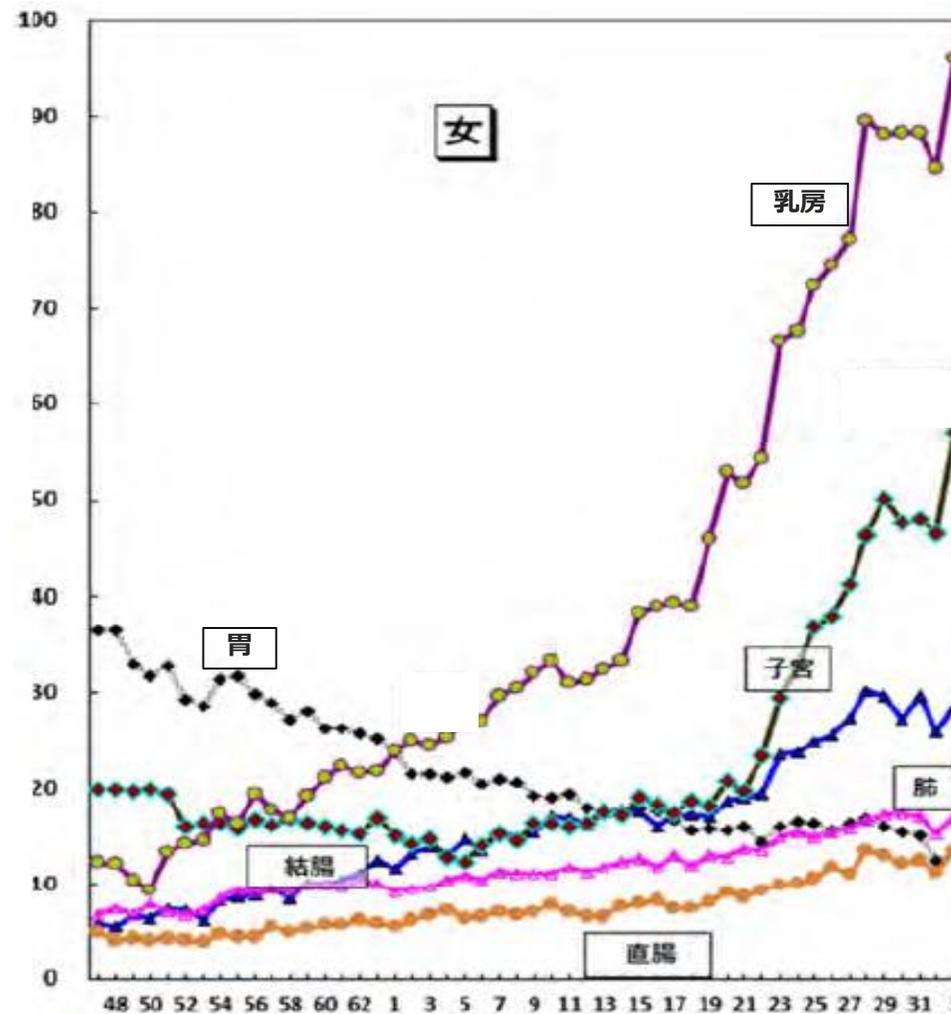
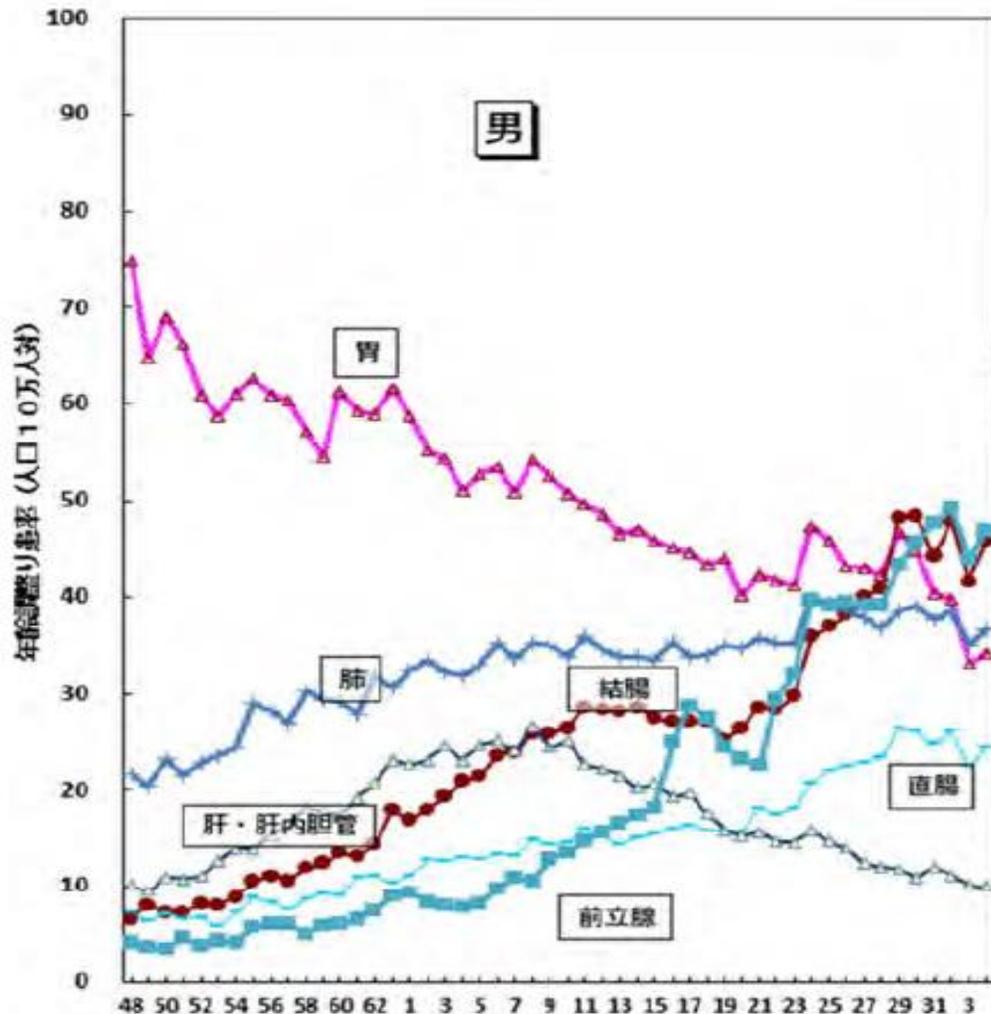
 より早期に感染を発見し、除菌することで発症予防効果が高まる。

※出典「H. pylori感染の診断と治療のガイドライン2024」

【参考】胃がん罹患率の推移（がん種比較）

胃がんは減少しているが、依然として県内で年間約7千人が罹患している

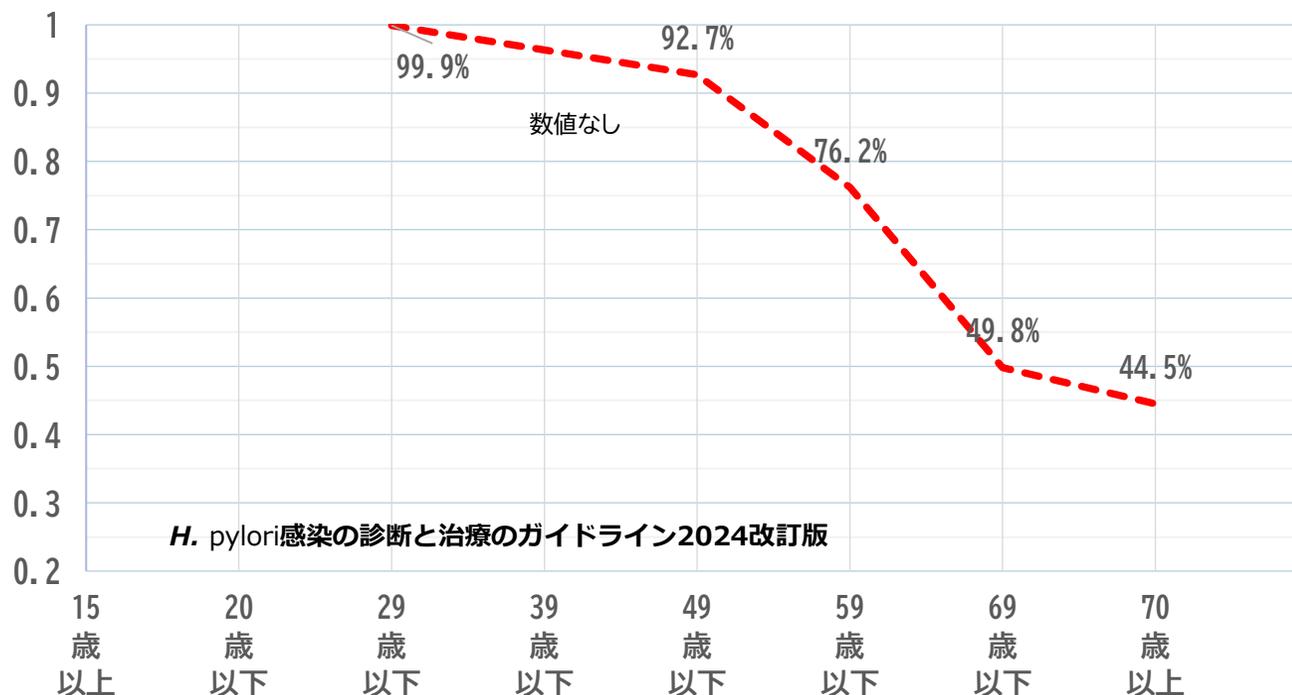
神奈川県 年齢調整り患率の年次推移



2 ピロリ菌感染対策事業の実施 (1)

従来の対策型がん検診に加えて、胃がんの原因であるピロリ菌の感染について、若年のうちから検査し発見することで、**将来の胃がん発症を予防し、更なる罹患率及び死亡率の低下を図る。**

ピロリ菌除菌による胃がんの予防効果



2 ピロリ菌感染対策事業の実施 (2)

(1) 事業内容

中学生及び若年層（14～39歳）を対象としたピロリ菌検診事業を実施する市町村に、その費用の一部を補助（1 / 3）する。

(2) 補助対象

ア 中学生

学校保健安全法に基づく健康診断とは別に、学校単位や学年単位で中学生を対象とした検診

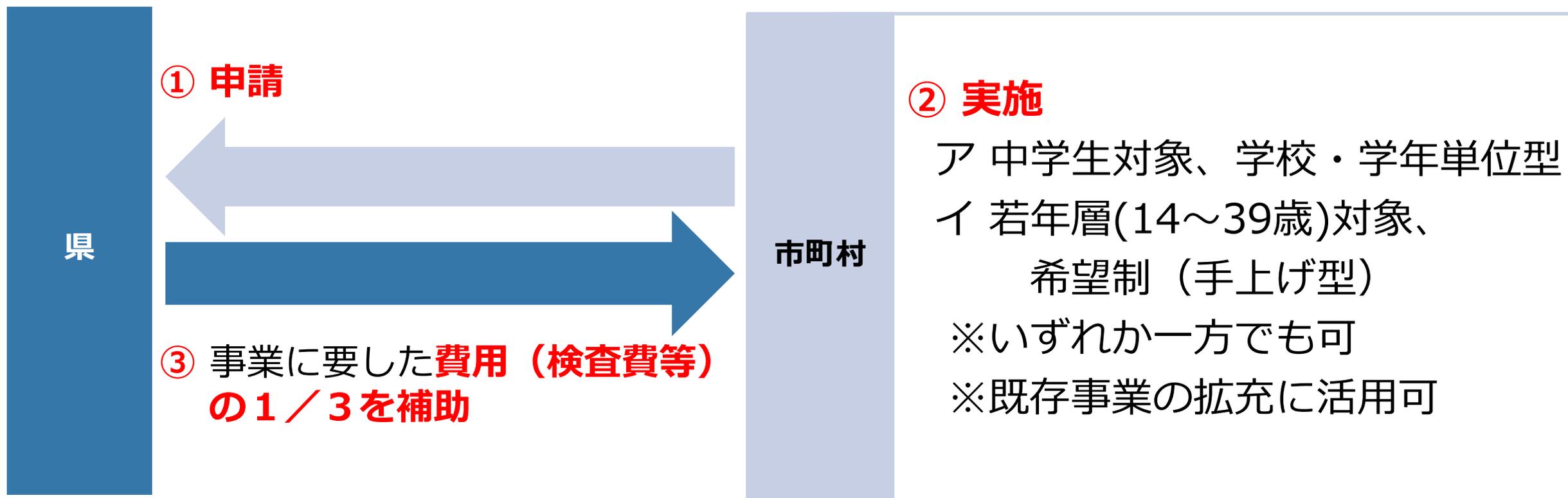
（地域や学校の実情に応じて、健康診断検査項目以外の検査を行う場合は、学校設置者及び学校の責任で、保護者等の理解と同意を得て実施することが可能）

イ 若年層（14～39歳）

市町村住民の若年層（14～39歳）を対象とした、希望制（手上げ型）で、医療機関や検査キット送付による検診

2 ピロリ菌感染対策事業の実施 (3)

令和8年度当初予算要求額：3,910万円



※現在、交付要綱等作成中

3 令和8年度スケジュール

1月	4月	5月	6月頃	随時
8年度実施 見込調査	交付申請	交付決定	9年度実施 見込調査	実施報告後、 各市町村へ支払

※ 年度途中でも交付申請可

実施について、ぜひご検討をお願いします。

問合せ先

健康医療局 保健医療部

がん・疾病対策課 がん・循環器対策グループ

電話：045-210-5025

メール：cancer_health@pref.kanagawa.lg.jp

担当：下池、田高、池中

参考 ピロリ菌検診を実施している神奈川県内市町村

次の市町村では、リスク検診として、ABC検査（ペプシノゲン検査・ピロリ菌抗体検査）を実施

	自治体名	実施経緯等
40歳以上対象	1 藤沢市	平成26年度から実施
	2 小田原市	平成25年度から実施
	3 逗子市	平成27年度（個別）、令和2年度（集団）から実施
	4 三浦市	平成24年度（個別）、平成25年度（集団）から実施
	5 厚木市	平成21年度からペプシノゲン検査実施、平成26年度からピロリ菌抗体検査追加
	6 座間市	平成28年度から実施
	7 葉山町	平成27年度から実施
	8 寒川町	令和5年度から実施
	9 大磯町	平成25年度から実施
	10 二宮町	平成26年度から実施
	11 開成町	平成26年度から実施
	12 箱根町	平成27年度から実施
	13 湯河原町	平成27年度から実施
	14 愛川町	平成24年度からペプシノゲン検査実施、平成27年度からピロリ菌抗体検査追加
40歳未満	15 綾瀬市	平成26年度から実施、30～65歳対象
	16 清川村	令和3年度から実施、20～39歳対象
(参考)	17 横須賀市	エックス線及び内視鏡検査に代えて、ABC検査実施。20歳、30歳、40歳以上を対象